

事業名		代表者 所属	広島干潟生物研究会
17 KJ-005		代表者	事務局長 くやみつ お
第 2 回広島ジュニアサイエンスフェア		開催地	広島市
		助成金額	16 万円
活動概要			
日時	平成 30 年 1 月 6 日		
場所	広島市青少年センター		
対象	青少年・一般		
参加者(人)	442 人 内訳(成人 196、大学生 2、高校生 14、中学生 47、 小学生 151、幼児 32)、教員数は不明		
内容	科学研究口頭発表、ポスターセッション、サイエンスショー、 実験/体験ブース、科学写真展等 発表;口頭 8 件、ポスター31 件		

事業の目的・ねらい

科学研究の口頭発表、ポスターセッション、科学実験体験、科学写真展を通して、参加者に楽しみながら科学的素養を培い、科学技術や科学研究の振興に役立てる。

事業の概要

【具体的な内容】

- 内容 科学研究口頭発表……小学生 4 本、中学生 4 本
いずれも、広島市科学賞で教育長賞、優秀賞を受けた作品であり、このうち広島県科学賞で 2 点が特選(うち 1 点は日本学生科学賞中央審査で日本科学未来館賞を受賞)を、3 点が準特選を受けた作品。
また別の 1 点は、旺文社学芸サイエンスコンクールにおいて努力賞(4 等に該当)を受けた作品。
 - 科学研究ポスター発表……展示枚数は 31 枚(いずれも A1 版カラー)
 - サイエンスショー……高校生 10 名による 3 テーマを舞台上で演示
 - 実験コーナー……10 ブース
 - 体験コーナー……獣医師 2 名の指導による獣医師体験、科学写真チームによる撮影体験
 - 科学写真展……36 点
 - 科学研究材料の無料配布……微生物などを希望者に配布
- 開催日時・場所 平成 30 年 1 月 6 日(土)12:30~16:30 広島市青少年センター

成果・効果

【参加者への効果】

- ・参加者は科学技術の一端に触れることができ、一様に参加したことに満足している。
- ・科学研究の口頭発表やポスター発表を見たり聞いたりした子どもたちは、圧倒され、また保護者、教師も、科学研究の重要性を認識した。とりわけ今回は優秀な作品の展示や発表が多く、特に保護者や教師が刺激を受けていた。
- ・ポスター発表者も参観者とのやりとりを通して達成感を味わい、次年度への意欲が向上した。
- ・ブースでの解説者も、参加者の反応を実際に手応えとして受け止めることができ、改善点や準備物をあらためて考える機会を得た。
- ・サイエンスショー出演者、写真展の出品者たちも達成感を味わい、次年度への意欲を高めた。

【地域への効果】

- ・身近な材料を用いた実験やびっくりするような楽しい実験を中心にブースを展開したため、子どもも保護者も楽しめ、科学技術の振興に有効だったとおもわれる。
- ・ポスターセッションの場で発表者と観覧者との予想以上の質疑応答が繰り返され、これを通して科学的に考えたり実験したりする具体例を示すことができ、科学研究のすそ野を広げることにつながったと考えられる。
- ・保護者は、科学研究や体験活動の教育効果について認識が深まり、これからの社会を生きぬく力を育てる必要性を感じていた。

【その他の効果】

- ・獣医師会、企業が協力的であり、ボランティアでブース参加していただいた。この輪を広げることで、より多くの実験や体験が可能となるだろう。

2nd じゃすふあ の記録

(第2回広島ジュニアサイエンスフェア)

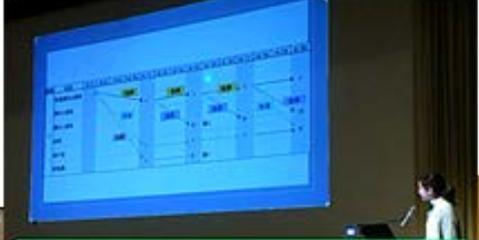
平成30年1月6日
広島市青少年センター



ポスター発表

配付資料





口頭発表(テレビ報道画面から)

- 世代交代の期間
- 一匹が何匹の子を産むか
- 脱皮の間隔



サイエンスショー



実験ブース



科学写真展



獣医師体験

口頭発表	5本
ポスター	31点
実験ブース	10件
科学写真展	36点
獣医師体験	1件
-----	-----
来場者数	442名

主催：広島ジュニアサイエンスフェア実行委員会
広島・地域から「体験の風をおこそう」運動推進実行委員会